

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2006年8月25日設定）	
運用方針	<p>マザーファンド受益証券への投資を通じて、外国の債券に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざします。当ファンドにおいて「アッパーミドル諸国」とは、先進国と新興国の中間領域に位置する国として委託会社が判断した国とします。アッパーミドル諸国の中から、信用等级がA～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。投資対象とする債券は、当該国通貨建ての国債、政府保証債、政府機関債、地方債および国際機関債とします。ポートフォリオの流動性等を補完するため米国国債に投資することとし、信託財産の10～20%程度を基本資産配分とします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要運用対象	ベビーフンド	グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。
	マザーファンド	外国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）」およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

グローバル・ボンド・ ニューマーケット （毎月決算型）

愛称：星こよみ



第118期（決算日：2016年8月24日）
 第119期（決算日：2016年9月26日）
 第120期（決算日：2016年10月24日）
 第121期（決算日：2016年11月24日）
 第122期（決算日：2016年12月26日）
 第123期（決算日：2017年1月24日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）」は、去る1月24日に第123期の決算を行いましたので、法令に基づいて第118期～第123期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

 **MUFG**
 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufig.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル **TEL. 0120-151034**
 (9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 金					
	円		円		%	%	%	百万円	
94期(2014年8月25日)	6,215		30		0.8	96.2	—	18,896	
95期(2014年9月24日)	6,275		30		1.4	96.7	—	18,631	
96期(2014年10月24日)	6,173		30		△1.1	96.4	—	18,027	
97期(2014年11月25日)	6,722		30		9.4	96.9	—	19,068	
98期(2014年12月24日)	6,522		30		△2.5	94.8	—	17,974	
99期(2015年1月26日)	6,512		30		0.3	96.3	—	17,654	
100期(2015年2月24日)	6,200		30		△4.3	96.7	—	16,532	
101期(2015年3月24日)	6,078		30		△1.5	95.7	—	15,879	
102期(2015年4月24日)	5,993		30		△0.9	95.7	—	15,284	
103期(2015年5月25日)	6,069		30		1.8	96.5	—	15,205	
104期(2015年6月24日)	6,033		30		△0.1	96.7	—	14,675	
105期(2015年7月24日)	5,847		30		△2.6	97.3	—	13,955	
106期(2015年8月24日)	5,325		30		△8.4	97.3	—	12,499	
107期(2015年9月24日)	4,979		30		△5.9	95.9	—	11,534	
108期(2015年10月26日)	5,155		30		4.1	97.4	—	11,720	
109期(2015年11月24日)	5,121		30		△0.1	97.5	—	11,463	
110期(2015年12月24日)	4,761		30		△6.4	95.5	—	10,435	
111期(2016年1月25日)	4,489		30		△5.1	96.5	—	9,723	
112期(2016年2月24日)	4,398		30		△1.4	97.0	—	9,438	
113期(2016年3月24日)	4,487		30		2.7	96.7	—	9,515	
114期(2016年4月25日)	4,602		30		3.2	96.8	—	9,611	
115期(2016年5月24日)	4,211		30		△7.8	96.5	—	8,726	
116期(2016年6月24日)	3,978		30		△4.8	96.8	—	8,124	
117期(2016年7月25日)	4,299		30		8.8	97.3	—	8,700	
118期(2016年8月24日)	4,133		20		△3.4	97.0	—	8,247	
119期(2016年9月26日)	4,036		20		△1.9	97.2	—	7,927	
120期(2016年10月24日)	4,161		20		3.6	96.9	—	8,005	
121期(2016年11月24日)	4,096		20		△1.1	97.0	—	7,718	
122期(2016年12月26日)	4,278		20		4.9	93.6	—	7,890	
123期(2017年1月24日)	4,167		20		△2.1	96.2	—	7,558	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざすことを目標としておりますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			円	%			
第118期	(期 首) 2016年 7月25日	4,299		—	97.3		—
	7月末	4,221		△1.8	97.3		—
	(期 末) 2016年 8月24日	4,153		△3.4	97.0		—
第119期	(期 首) 2016年 8月24日	4,133		—	97.0		—
	8月末	4,125		△0.2	96.9		—
	(期 末) 2016年 9月26日	4,056		△1.9	97.2		—
第120期	(期 首) 2016年 9月26日	4,036		—	97.2		—
	9月末	4,032		△0.1	96.1		—
	(期 末) 2016年10月24日	4,181		3.6	96.9		—
第121期	(期 首) 2016年10月24日	4,161		—	96.9		—
	10月末	4,159		△0.0	96.4		—
	(期 末) 2016年11月24日	4,116		△1.1	97.0		—
第122期	(期 首) 2016年11月24日	4,096		—	97.0		—
	11月末	4,131		0.9	97.2		—
	(期 末) 2016年12月26日	4,298		4.9	93.6		—
第123期	(期 首) 2016年12月26日	4,278		—	93.6		—
	12月末	4,299		0.5	94.9		—
	(期 末) 2017年 1月24日	4,187		△2.1	96.2		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

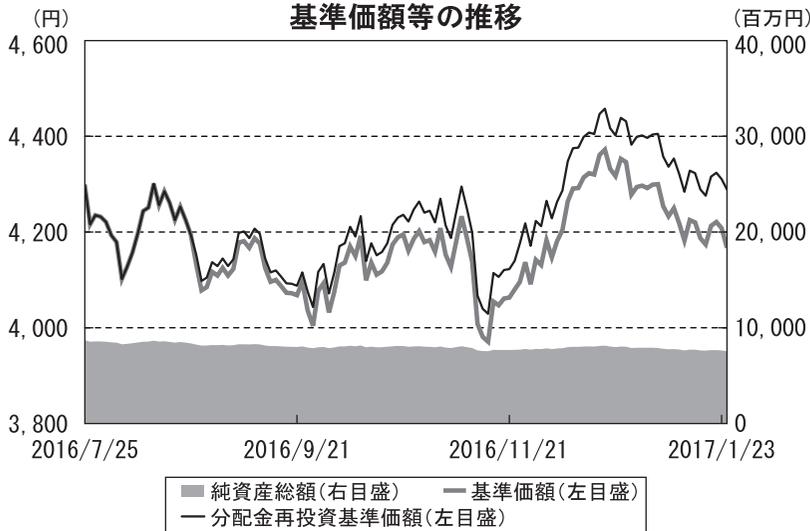
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について（第118期～第123期：2016/7/26～2017/1/24）

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ0.2%（分配金再投資ベース）の下落となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

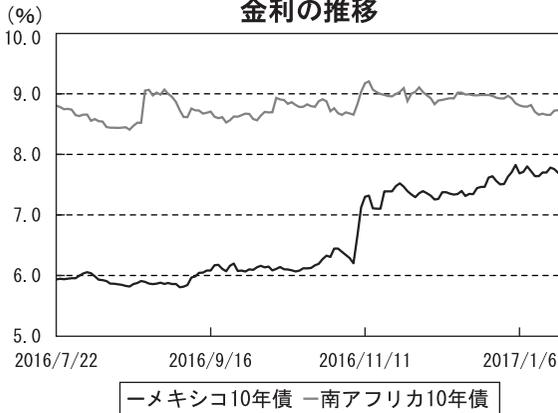
基準価額の変動要因

上昇要因	債券の利子収益を享受したことや南アフリカランド、米ドルが対円で上昇したことなどが、上昇要因となりました。
下落要因	信託報酬等の費用や、メキシコペソやマレーシアリングットが対円で下落したこと、および米国、メキシコ、マレーシアの長期金利が上昇したことなどが、下落要因となりました。

投資環境について

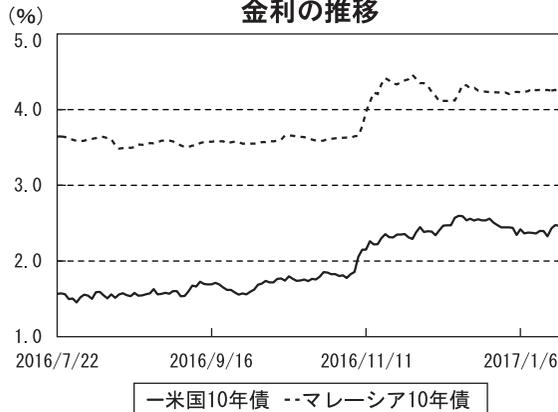
（第118期～第123期：2016/7/26～2017/1/24）

金利の推移



（注）現地日付ベースで記載しております。

金利の推移



（注）現地日付ベースで記載しております。

◎債券市況

- ・米国、メキシコ、マレーシアの長期金利は上昇しましたが、南アフリカの長期金利は概ね横ばいとなりました。
- ・2016年11月上旬に実施された米国大統領選の結果を受けた2017年以降の財政政策に対する期待の高まりや、12月中旬に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）において利上げが実施されたうえ、今後の政策金利見通しが引き上げられたことなどから米国、メキシコ、マレーシアの長期金利は上昇しました。また、メキシコでは、保護主義政策を掲げるトランプ氏の政策次第によってメキシコ経済へ悪影響が生じる懸念が続いていることや、中央銀行が利上げを決定したことなども、金利の上昇要因となりました。一方、南アフリカでは、大手格付会社が同国の自国通貨建て長期債務格付をBBB+からBBBに引き下げたものの、外貨建て長期債務格付も含めて投資適格級を維持したことから、影響は限定的でした。

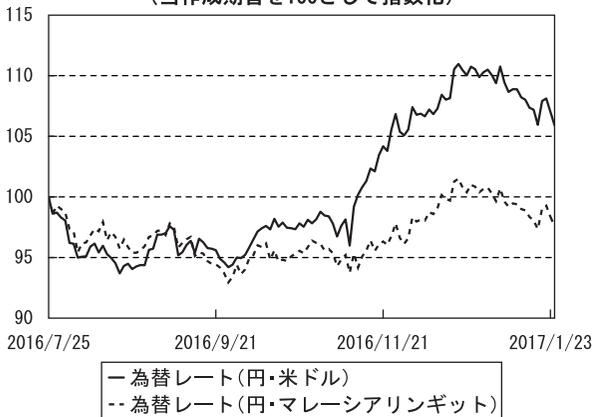
為替市況の推移

（当作成期首を100として指数化）



為替市況の推移

（当作成期首を100として指数化）



◎為替市況

- ・メキシコペソ、マレーシアリングgitは対円で下落した一方で、米ドル、南アフリカランドは対円で上昇しました。
- ・前述の大統領選の結果を受けて米国金利が上昇して日米の金利差が拡大したことなどから、米ドルは対円で上昇しました。また、円は他の主要通貨に対しても概ね下落する展開となり、南アフリカランドは対円で上昇しました。一方、メキシコにおいては、前述の経済悪化懸念の高まりなどを背景に、メキシコペソは対円で下落しました。また、マレーシアにおいては、2016年8月に発表された2016年第2四半期の国内総生産（GDP）成長率が前年同期比4.0%と、第1四半期の同4.2%を小幅に下回る結果となったことなどから、マレーシアリングgitは対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）>

- ・グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券への投資を通じて、アッパーミドル諸国の公社債を中心に投資をしました。
- ・マザーファンドの基準価額が上昇したものの、信託報酬等の費用などにより基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

<グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ0.4%の上昇となりました。

- ・アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定し、通貨別資産配分は均等を基本に組み入れました。
- ・投資国は、作成期を通じて、メキシコ・マレーシア・南アフリカ・米国の4カ国で運用しました。
- ・メキシコペソやマレーシアリングgitが対円で下落したことや米国、メキシコ、マレーシアの長期金利が上昇したことなどによる下落要因を、債券の利子収益を享受したことや南アフリカランド、米ドルが対円で上昇したことなどによる上昇要因が上回ったことから、基準価額は上昇しました。

（ご参考）

利回り・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

作成期首（2016年7月25日）

最終利回り	5.4%
直接利回り	6.1%
デュレーション	5.8年



作成期末（2017年1月24日）

最終利回り	6.2%
直接利回り	6.3%
デュレーション	5.9年

- ・数値は債券現物部分で計算しております。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。

（ご参考）

債券の格付分布

作成期首（2016年7月25日）

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	9.6%	5
AA格	0.0%	0
A格	57.8%	11
BBB格	30.1%	6
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

作成期末（2017年1月24日）

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	8.9%	4
AA格	0.0%	0
A格	56.5%	12
BBB格	31.0%	6
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0



- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は、以下の通りです。
 - ・AAA格（AAA、Aaa）
 - ・AA格（AA+、AA、AA-、Aa1、Aa2、Aa3）
 - ・A格（A+、A、A-、A1、A2、A3）
 - ・BBB格（BBB+、BBB、BBB-、Baa1、Baa2、Baa3）
 - ・BB格（BB+、BB、BB-、Ba1、Ba2、Ba3）
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付（国の発行体格付）を採用しているものがあります。
- ・格付分布はS&P社、Moody's社のうち最も高い格付を表示しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざすことを目標としておりますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第118期	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期
	2016年7月26日～ 2016年8月24日	2016年8月25日～ 2016年9月26日	2016年9月27日～ 2016年10月24日	2016年10月25日～ 2016年11月24日	2016年11月25日～ 2016年12月26日	2016年12月27日～ 2017年1月24日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
（対基準価額比率）	0.482%	0.493%	0.478%	0.486%	0.465%	0.478%
当期の収益	16	17	18	17	20	16
当期の収益以外	3	2	1	2	—	3
翌期繰越分配対象額	151	148	147	145	148	145

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）>

◎今後の運用方針

- ・グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

<グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・アッパーミドル諸国においては、外部環境の悪化による一定の影響は受けつつも、中間所得層の増加や堅調な労働市場を背景とした個人消費の堅調な伸びを背景に、概ね底堅い経済成長を維持するものと考えています。
- ・主要先進国では、日本銀行や欧州中央銀行などの中央銀行による金融緩和政策の継続などを背景として、世界的に金利が低水準で推移しています。このような環境下、先進諸国との比較で相対的に金利水準の高いアッパーミドル諸国への金利差を狙った資金流入が、今後も見込めると考えます。
- ・ただし、他の新興国通貨と同様に、中国の景気減速懸念や米国の利上げに伴う資金フローの動向などの外部要因の影響を受け、投資家のリスク回避姿勢の高まりなどから不安定な動きに転じる可能性がある点については留意が必要です。

◎今後の運用方針

- ・アッパーミドル諸国の政府または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざします。
- ・アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。
- ・アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年7月26日～2017年1月24日)

項 目	第118期～第123期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(12)	(0.298)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(11)	(0.271)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.014	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.012)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	26	0.609	
作成期中の平均基準価額は、4,161円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2016年7月26日～2017年1月24日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第118期～第123期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	千口 19,002	千円 20,024	千口 1,118,671	千円 1,171,566

○利害関係人との取引状況等

(2016年7月26日～2017年1月24日)

利害関係人との取引状況

<グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）>

該当事項はございません。

<グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド>

区 分	第118期～第123期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 -	百万円 -	% -	百万円 1,143	百万円 251	% 22.0

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2017年1月24日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第117期末	第123期末	
	口 数	口 数	評 価 額
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	千口 8,179,303	千口 7,079,634	千円 7,540,518

○投資信託財産の構成

（2017年1月24日現在）

項 目	第123期末	
	評 価 額	比 率
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	千円 7,540,518	% 99.1
コール・ローン等、その他	70,409	0.9
投資信託財産総額	7,610,927	100.0

(注) グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（7,504,064千円）の投資信託財産総額（7,586,361千円）に対する比率は98.9%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=112.78円	1 メキシコペソ=5.29円	1 マレーシアリングgit=25.44円	1 南アフリカランド=8.38円
------------------	----------------	----------------------	------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第118期末	第119期末	第120期末	第121期末	第122期末	第123期末
	2016年8月24日現在	2016年9月26日現在	2016年10月24日現在	2016年11月24日現在	2016年12月26日現在	2017年1月24日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	8,307,756,633	7,984,764,290	8,090,113,054	7,780,877,108	7,947,698,241	7,610,927,146
コール・ローン等	27,745,238	26,177,570	25,683,626	25,244,498	26,495,864	24,642,705
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド(附録)	8,227,487,304	7,909,228,526	7,986,393,698	7,700,671,200	7,871,974,725	7,540,518,306
未収入金	52,524,091	49,358,194	78,035,730	54,961,410	49,227,652	45,766,135
(B) 負債	59,773,577	56,966,917	84,561,587	61,886,306	56,986,850	52,309,551
未払収益分配金	39,915,780	39,280,681	38,479,887	37,690,727	36,891,879	36,276,997
未払解約金	11,518,766	8,910,876	38,754,144	16,251,338	11,792,744	8,666,891
未払信託報酬	8,307,284	8,741,951	7,299,660	7,914,000	8,270,623	7,337,621
未払利息	39	40	33	36	34	34
その他未払費用	31,708	33,369	27,863	30,205	31,570	28,008
(C) 純資産総額(A-B)	8,247,983,056	7,927,797,373	8,005,551,467	7,718,990,802	7,890,711,391	7,558,617,595
元本	19,957,890,402	19,640,340,502	19,239,943,624	18,845,363,659	18,445,939,551	18,138,498,934
次期繰越損益金	△11,709,907,346	△11,712,543,129	△11,234,392,157	△11,126,372,857	△10,555,228,160	△10,579,881,339
(D) 受益権総口数	19,957,890,402口	19,640,340,502口	19,239,943,624口	18,845,363,659口	18,445,939,551口	18,138,498,934口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,133円	4,036円	4,161円	4,096円	4,278円	4,167円

○損益の状況

項 目	第118期	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期
	2016年7月26日～ 2016年8月24日	2016年8月25日～ 2016年9月26日	2016年9月27日～ 2016年10月24日	2016年10月25日～ 2016年11月24日	2016年11月25日～ 2016年12月26日	2016年12月27日～ 2017年1月24日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 929	△ 1,113	△ 608	△ 920	△ 876	△ 762
受取利息	10	-	45	-	-	37
支払利息	△ 939	△ 1,113	△ 653	△ 920	△ 876	△ 799
(B) 有価証券売買損益	△ 282,808,139	△ 140,890,391	285,183,892	△ 76,750,606	380,519,228	△ 156,933,193
売買益	1,958,440	919,528	288,659,897	2,854,462	387,374,210	1,452,636
売買損	△ 284,766,579	△ 141,809,919	△ 3,476,005	△ 79,605,068	△ 6,854,982	△ 158,385,829
(C) 信託報酬等	△ 8,338,992	△ 8,775,320	△ 7,327,523	△ 7,944,205	△ 8,302,193	△ 7,365,629
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 291,148,060	△ 149,666,824	277,855,761	△ 84,695,731	372,216,159	△ 164,299,584
(E) 前期繰越損益金	△ 8,480,357,757	△ 8,664,537,952	△ 8,665,831,404	△ 8,247,142,852	△ 8,185,552,893	△ 7,713,329,335
(F) 追加信託差損益金	△ 2,898,485,749	△ 2,859,057,672	△ 2,807,936,627	△ 2,756,843,547	△ 2,704,999,547	△ 2,665,975,423
(配当等相当額)	(238,018,788)	(234,286,745)	(229,564,018)	(224,902,564)	(220,181,778)	(216,559,929)
(売買損益相当額)	(△ 3,136,504,537)	(△ 3,093,344,417)	(△ 3,037,500,645)	(△ 2,981,746,111)	(△ 2,925,181,325)	(△ 2,882,535,352)
(G) 計(D+E+F)	△11,669,991,566	△11,673,262,448	△11,195,912,270	△11,088,682,130	△10,518,336,281	△10,543,604,342
(H) 収益分配金	△ 39,915,780	△ 39,280,681	△ 38,479,887	△ 37,690,727	△ 36,891,879	△ 36,276,997
次期繰越損益金(G+H)	△11,709,907,346	△11,712,543,129	△11,234,392,157	△11,126,372,857	△10,555,228,160	△10,579,881,339
追加信託差損益金	△ 2,898,485,749	△ 2,859,057,672	△ 2,807,936,627	△ 2,756,843,547	△ 2,704,999,547	△ 2,665,975,423
(配当等相当額)	(238,025,484)	(234,293,626)	(229,568,964)	(224,910,199)	(220,188,190)	(216,564,793)
(売買損益相当額)	(△ 3,136,511,233)	(△ 3,093,351,298)	(△ 3,037,505,591)	(△ 2,981,753,746)	(△ 2,925,187,737)	(△ 2,882,540,216)
分配準備積立金	63,709,595	57,734,716	54,213,585	48,866,992	53,923,908	47,129,976
繰越損益金	△ 8,875,131,192	△ 8,911,220,173	△ 8,480,669,115	△ 8,418,396,302	△ 7,904,152,521	△ 7,961,035,892

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

①作成期首（前作成期末）元本額 20,240,984,957円
 作成期中追加設定元本額 99,078,928円
 作成期中一部解約元本額 2,201,564,951円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.4167円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は10,579,881,339円です。

③分配金の計算過程

項 目	2016年7月26日～ 2016年8月24日	2016年8月25日～ 2016年9月26日	2016年9月27日～ 2016年10月24日	2016年10月25日～ 2016年11月24日	2016年11月25日～ 2016年12月26日	2016年12月27日～ 2017年1月24日
費用控除後の配当等収益額	32,789,530円	34,367,823円	36,182,473円	33,497,788円	43,022,976円	30,423,436円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	238,025,484円	234,293,626円	229,568,964円	224,910,199円	220,188,190円	216,564,793円
分配準備積立金額	70,835,845円	62,647,574円	56,510,999円	53,059,931円	47,792,811円	52,983,537円
当ファンドの分配対象収益額	341,650,859円	331,309,023円	322,262,436円	311,467,918円	311,003,977円	299,971,766円
1万口当たり収益分配対象額	171円	168円	167円	165円	168円	165円
1万口当たり分配金額	20円	20円	20円	20円	20円	20円
収益分配金金額	39,915,780円	39,280,681円	38,479,887円	37,690,727円	36,891,879円	36,276,997円

○分配金のお知らせ

	第118期	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期
1 万口当たり分配金（税込み）	20円	20円	20円	20円	20円	20円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お知らせ】

- ①信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める（分散型に分類）ため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2016年10月25日)
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2017年1月24日現在）

<グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド>

下記は、グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド全体(7,079,634千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第123期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 5,600	千アメリカドル 5,927	千円 668,451	% 8.9	% —	% 5.3	% 3.6	% —
メキシコ	千メキシコペソ 364,500	千メキシコペソ 384,299	2,032,942	27.0	—	14.7	6.6	5.7
マレーシア	千マレーシアリンギット 87,500	千マレーシアリンギット 87,611	2,228,842	29.6	—	9.3	17.3	2.9
南アフリカ	千南アフリカランド 332,000	千南アフリカランド 279,197	2,339,677	31.0	—	27.5	2.5	1.0
合 計	—	—	7,269,913	96.4	—	56.8	30.0	9.6

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第123期末				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	国債証券	1.75 T-NOTE 220515	1.75	1,900	1,880	212,038	2022/5/15
		3 T-BOND 420515	3.0	500	503	56,786	2042/5/15
		3.125 T-NOTE 190515	3.125	2,300	2,396	270,266	2019/5/15
		4.5 T-BOND 360215	4.5	900	1,147	129,359	2036/2/15
小	計					668,451	
メキシコ				千メキシコペソ	千メキシコペソ		
	国債証券	10 MEXICAN BONOS 241205	10.0	36,000	41,332	218,647	2024/12/5
		10 MEXICAN BONOS 361120	10.0	53,000	63,077	333,682	2036/11/20
		7.75 MEXICAN BONO 171214	7.75	80,000	80,900	427,964	2017/12/14
		7.75 MEXICAN BONO 421113	7.75	43,000	41,591	220,021	2042/11/13
		8 MEXICAN BONOS 200611	8.0	91,500	93,965	497,079	2020/6/11
		8 MEXICAN BONOS 231207	8.0	30,000	30,886	163,391	2023/12/7
		8.5 MEXICAN BONOS 290531	8.5	31,000	32,543	172,156	2029/5/31
小	計					2,032,942	
マレーシア				千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
	国債証券	3.26 MALAYSIAGOV 180301	3.26	8,500	8,525	216,896	2018/3/1
		3.654 MALAYSIAGOV 191031	3.654	29,000	29,136	741,227	2019/10/31
		3.955 MALAYSIAGOV 250915	3.955	5,000	4,917	125,093	2025/9/15
		4.048 MALAYSIA 210930	4.048	22,000	22,290	567,057	2021/9/30
		4.498 MALAYSIAGOV 300415	4.498	23,000	22,742	578,567	2030/4/15
小	計					2,228,842	
南アフリカ				千南アフリカランド	千南アフリカランド		
	国債証券	10.5 SOUTH AFRICA 261221	10.5	57,000	63,512	532,237	2026/12/21
		6.25 SOUTH AFRICA 360331	6.25	61,000	44,081	369,404	2036/3/31
		6.5 SOUTH AFRICA 410228	6.5	147,000	106,075	888,910	2041/2/28
		7.25 SOUTH AFRICA 200115	7.25	23,000	22,566	189,106	2020/1/15
		7.75 SOUTH AFRICA 230228	7.75	35,000	33,930	284,338	2023/2/28
		8.25 SOUTH AFRICA 170915	8.25	9,000	9,031	75,680	2017/9/15
小	計					2,339,677	
合	計					7,269,913	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド

《第10期》決算日2016年7月25日

[計算期間：2015年7月25日～2016年7月25日]

「グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド」は、7月25日に第10期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第10期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	<p>アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し安定した利子収益の獲得をめざします。当ファンドにおいて「アッパーミドル諸国」とは、先進国と新興国の中間領域に位置する国として委託会社が判断した国とします。アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。投資対象とする債券は、当該国通貨建ての国債、政府保証債、政府機関債、地方債および国際機関債とします。ポートフォリオの流動性等を補完するため米国国債に投資することとし、信託財産の10～20%程度を基本資産配分とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要運用対象	外国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	円	騰落率			
6期(2012年7月24日)	9,846	△2.7	98.0	—	30,613
7期(2013年7月24日)	12,356	25.5	97.6	—	24,981
8期(2014年7月24日)	13,057	5.7	97.3	—	19,168
9期(2015年7月24日)	13,211	1.2	97.5	—	13,920
10期(2016年7月25日)	10,612	△19.7	97.5	—	8,680

(注) 当ファンドは、アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざすことを目標としておりますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰	落		
(期 首) 2015年7月24日	円 13,211		% —	% 97.5	% —
7月末	13,086	△	0.9	97.1	—
8月末	12,063	△	8.7	97.6	—
9月末	11,259	△	14.8	96.3	—
10月末	11,728	△	11.2	97.8	—
11月末	11,787	△	10.8	97.2	—
12月末	11,051	△	16.4	95.8	—
2016年1月末	10,962	△	17.0	96.8	—
2月末	10,349	△	21.7	97.2	—
3月末	11,055	△	16.3	97.1	—
4月末	10,991	△	16.8	97.0	—
5月末	10,368	△	21.5	97.0	—
6月末	10,142	△	23.2	97.2	—
(期 末) 2016年7月25日	10,612	△	19.7	97.5	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ19.7%の下落となりました。

基準価額の推移



●投資環境について

◎債券市況

- ・米国、マレーシア、メキシコの長期金利は低下（債券価格は上昇）した一方で、南アフリカの金利は上昇しました。なお、組み入れ期間中、ブラジルの金利は上昇しました。
- ・新興国の景気減速懸念などを受けて世界的に株式市況が下落し、投資家のリスク回避姿勢が強まった2016年1月などの局面で、債券が買われ金利が低下しました。また、2015年12月に米国においてFRB（米連邦準備制度理事会）が約9年半ぶりに政策金利を引き上げたものの、その後、日欧の金融緩和策が強化されたことや、米国の金融正常化の動きが緩やかなペースになるとの見方が強まったことなども、金利の低下要因となりました。
- ・南アフリカにおいては、格付会社が同国の格付を引き下げたことや、政府内の財務相人事を巡

る混乱などが同国債券の売り要因となり、金利は上昇しました。

- ・ブラジルにおいては、格付会社が同国の格付を引き下げたことに加えて、原油などの資源価格下落が同国経済へ与える悪影響が懸念されたことや、汚職疑惑を巡る政治不透明感などが、金利上昇要因となりました。

◎為替市況

- ・米ドル、メキシコペソ、南アフリカランド、マレーシアリングgitは、いずれも対円で下落しました。なお、組み入れ期間中、ブラジルレアルも対円で下落しました。
- ・米ドルは、FRBの利上げ観測の後退などを背景に対円で下落しました。また、2016年6月に行われた英国のEU（欧州連合）離脱を巡る国民投票の結果などを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まるなか、逃避通貨とされる円が買われ、主要通貨は円に対して下落する展開となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定し、通貨別資産配分は均等を基本に組み入れました。
- ・投資国は、期首から2015年9月中旬まで、メキシコ・ブラジル・マレーシア・南アフリカ・米国の5カ国での運用としていましたが、9月中旬に格下げが行われたブラジルを投資国から除外し、メキシコ・マレーシア・南アフリカ・米国の4カ国での運用に変更しています。
- ・債券の利子収益を享受したことによる上昇要因を、南アフリカランドなどの組入通貨が対円で下落したことなどによる下落要因が上回ったことから、基準価額は下落しました。

◎今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・アッパーミドル諸国においては、外部環境の悪化による一定の影響は受けつつも、中間所得層の増加や堅調な労働市場を背景とした個人消費の堅調な伸びを背景に、概ね底堅い経済成長を維持するものと考えています。
- ・主要先進国では、日銀や欧州中央銀行などの中央銀行による金融緩和政策の継続などを背景として、世界的に金利が低水準で推移しています。このような環境下、先進諸国との比較で相対的に金利水準の高いアッパーミドル諸国への金利差を狙った資金流入が、今後も見込めると考えます。
- ・ただし、他の新興国通貨と同様に、中国の景気減速懸念や米国の利上げ開始に伴う資金フローの動向などの外部要因の影響を受け、投資家のリスク回避姿勢の高まりなどから不安定な動きに転じる可能性がある点については留意が必要です。

◎今後の運用方針

- ・アッパーミドル諸国の政府または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざします。
- ・アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。
- ・アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）を参考にします。

○1万口当たりの費用明細

(2015年7月25日～2016年7月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.037)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	4	0.037	
期中の平均基準価額は、11,236円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年7月25日～2016年7月25日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千アメリカドル -	千アメリカドル 3,337
	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 111,262	千メキシコペソ 78,986
	ブラジル	国債証券	千ブラジルレアル 5,659	千ブラジルレアル 79,363
	マレーシア	国債証券	千マレーシアリングット 30,913	千マレーシアリングット 33,251
	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド 97,687	千南アフリカランド 41,203

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2015年7月25日～2016年7月25日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	2,671	—	—	5,282	146	2.8

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2016年7月25日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 7,100	千アメリカドル 7,819	千円 832,726	% 9.6	% —	% 4.3	% 4.1	% 1.2
メキシコ	千メキシコペソ 371,500	千メキシコペソ 434,245	2,496,909	28.8	—	16.2	6.6	5.9
マレーシア	千マレーシアリンギット 94,000	千マレーシアリンギット 96,669	2,520,177	29.0	—	15.0	8.9	5.1
南アフリカ	千南アフリカランド 401,000	千南アフリカランド 350,860	2,613,912	30.1	—	23.7	5.6	0.8
合 計	—	—	8,463,725	97.5	—	59.3	25.1	13.1

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄		当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	国債証券	1.75 T-NOTE 220515	1.75	1,600	1,643	174,999	2022/5/15
		3 T-BOND 420515	3.0	500	578	61,561	2042/5/15
		3.125 T-NOTE 161031	3.125	1,000	1,007	107,286	2016/10/31
		3.125 T-NOTE 190515	3.125	3,100	3,301	351,648	2019/5/15
		4.5 T-BOND 360215	4.5	900	1,288	137,230	2036/2/15
小		計				832,726	
メキシコ				千メキシコペソ	千メキシコペソ		
	国債証券	10 MEXICAN BONOS 241205	10.0	46,000	58,651	337,248	2024/12/5
		10 MEXICAN BONOS 361120	10.0	53,000	75,016	431,346	2036/11/20
		7.75 MEXICAN BONO 171214	7.75	86,000	89,642	515,447	2017/12/14
		7.75 MEXICAN BONO 421113	7.75	34,000	39,910	229,487	2042/11/13
		8 MEXICAN BONOS 200611	8.0	91,500	99,575	572,560	2020/6/11
		8 MEXICAN BONOS 231207	8.0	30,000	33,974	195,354	2023/12/7
		8.5 MEXICAN BONOS 290531	8.5	31,000	37,472	215,465	2029/5/31
小		計				2,496,909	
マレーシア				千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
	国債証券	3.394 MALAYSIAGOV 170315	3.394	17,000	17,095	445,685	2017/3/15
		3.654 MALAYSIAGOV 191031	3.654	29,000	29,534	769,971	2019/10/31
		4.048 MALAYSIA 210930	4.048	25,000	25,931	676,034	2021/9/30
		4.498 MALAYSIAGOV 300415	4.498	23,000	24,107	628,487	2030/4/15
小		計				2,520,177	
南アフリカ				千南アフリカランド	千南アフリカランド		
	国債証券	10.5 SOUTH AFRICA 261221	10.5	87,000	96,895	721,870	2026/12/21
		6.25 SOUTH AFRICA 360331	6.25	61,000	44,026	327,994	2036/3/31
		6.5 SOUTH AFRICA 410228	6.5	142,000	102,076	760,471	2041/2/28
		7.25 SOUTH AFRICA 200115	7.25	67,000	65,164	485,478	2020/1/15
		7.75 SOUTH AFRICA 230228	7.75	35,000	33,648	250,682	2023/2/28
		8.25 SOUTH AFRICA 170915	8.25	9,000	9,048	67,414	2017/9/15
小		計				2,613,912	
合		計				8,463,725	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2016年7月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 8,463,725	% 96.7
コール・ローン等、その他	291,853	3.3
投資信託財産総額	8,755,578	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (8,634,803千円) の投資信託財産総額 (8,755,578千円) に対する比率は98.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=106.50円	1 メキシコペソ=5.75円	1 マレーシアリングギット=26.07円	1 南アフリカランド=7.45円
------------------	----------------	----------------------	------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年7月25日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	8,755,578,352 円
コール・ローン等	184,646,957
公社債(評価額)	8,463,725,723
未収利息	106,918,491
前払費用	287,181
(B) 負債	75,469,814
未払解約金	75,469,640
未払利息	174
(C) 純資産総額(A-B)	8,680,108,538
元本	8,179,303,395
次期繰越損益金	500,805,143
(D) 受益権総口数	8,179,303,395口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,612円

<注記事項>

- ①期首元本額 10,537,369,418円
 期中追加設定元本額 40,458,586円
 期中一部解約元本額 2,398,524,609円
 また、1口当たり純資産額は、期末10,612円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
 グローバル・ボンド・ニューマーケット(毎月決算型) 8,179,303,395円

[お知らせ]

信用リスクを適正に管理する方法を新たに定めるため(分散型に分類)、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行うための、所要の約款変更を行いました。

(2016年7月1日)

○損益の状況 (2015年7月25日～2016年7月25日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	555,995,966 円
受取利息	556,002,620
支払利息	△ 6,654
(B) 有価証券売買損益	△3,145,933,643
売買益	111,957,072
売買損	△3,257,890,715
(C) 保管費用等	△ 3,931,578
(D) 当期損益金(A+B+C)	△2,593,869,255
(E) 前期繰越損益金	3,383,496,944
(F) 追加信託差損益金	4,034,499
(G) 解約差損益金	△ 292,857,045
(H) 計(D+E+F+G)	500,805,143
次期繰越損益金(H)	500,805,143

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。